

農作業コツのコツ

最新の情報はこちらから



JA福光 無料メルマガ

【第12号】

令和4年7月9日

福光農業改良協議会

砺波農林振興センター南砺班

福光農業協同組合 営農部

熱中症に注意!

熱を逃しやすい服を着用し、こまめに水分補給・休息して農作業しましょう。

下流域まで水が行き渡るよう地域で計画的な用水の利用に努めましょう。

6月下旬頃から高温が続いており、水稻の生育は平年より早くなっています。また草丈が平年より長くなっています。

暑い夏を乗り切るため**水管理**に留意するとともに、各ほ場の生育に応じた適切な**穂肥施用**や斑点米カメムシ類の**防除**を徹底しましょう。

水稻の生育状況

(7月5日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期 ※R4は予想日		
	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	
コシヒカリ	5/14	5/13	67.6	63.8	22.0	22.2	11.4	11.6	4.0	4.1	(7/8)	7/10	
てんこもり	5/7	5/8	59.0	55.2	32.1	33.3	12.7	12.3	4.3	4.2	(7/10)	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	67.1	60.2	22.0	28.8	11.3	11.6	4.2	4.2	(7/11)	7/13
	てんこもり	5/8	5/10	58.0	54.9	25.8	35.1	11.9	12.4	4.1	4.2	(7/12)	7/15

調査筆数: コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ3筆 密苗てんこもり2筆

水 稲

1 穂肥施用

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

肥効調節型基肥、分施体系ともに出穂前に葉色を再度確認し、下表に基づき、葉色が極端に淡い場合は出穂3日前(走り穂の時期)までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょう。

○追肥施用の目安

品種	葉色 (出穂7日前)	施用量
とみちから	4.5以下	追肥3号 10kg/10a
五百万石	4.2以下	
てんたかく81	4.0未満	

○出穂期予想

品種	田植日	出穂期予想
とみちから	5月3日	7月15日
五百万石	5月2日	7月17日
てんたかく81(慣行苗)	5月2日	7月16日
てんたかく81(密苗)	5月2日	7月17日

(2) コシヒカリ

①**肥効調節型基肥体系**(基肥: Jコートコシヒカリ2号)の場合
原則、穂肥の施用は不要です。

②**分施体系**(基肥: 基肥555)の場合

幼穂長15mm頃の時期(5月14日植えて7月15日頃)に生育状況を確認し、下表に基づき、追肥3号を施用しましょう。

○幼穂長15mm頃のコシヒカリの姿

草丈	82cm以下	83~85cm	86cm以上
葉色	3.6程度	3.8程度	4.0以上
稲の姿等	ガッチリしている	ややメラついている	メラつく

○穂肥の目安

1回目	施用時期	幼穂長15mm (幼穂形成期から7日後)	幼穂長20mm (幼穂形成期から9日後)	施用しない	
	10a当たり施用量		10kg		7~10kg
2回目	施用時期	1回目の1週間後		幼穂形成期から2週間後	
	10a当たり 施用量	粘質土以外	12kg	12kg	12kg以下
		粘質土	11kg	11kg	11kg

※施用量等、詳しくは地区担当指導員に問合わせください。

(3) てんこもり

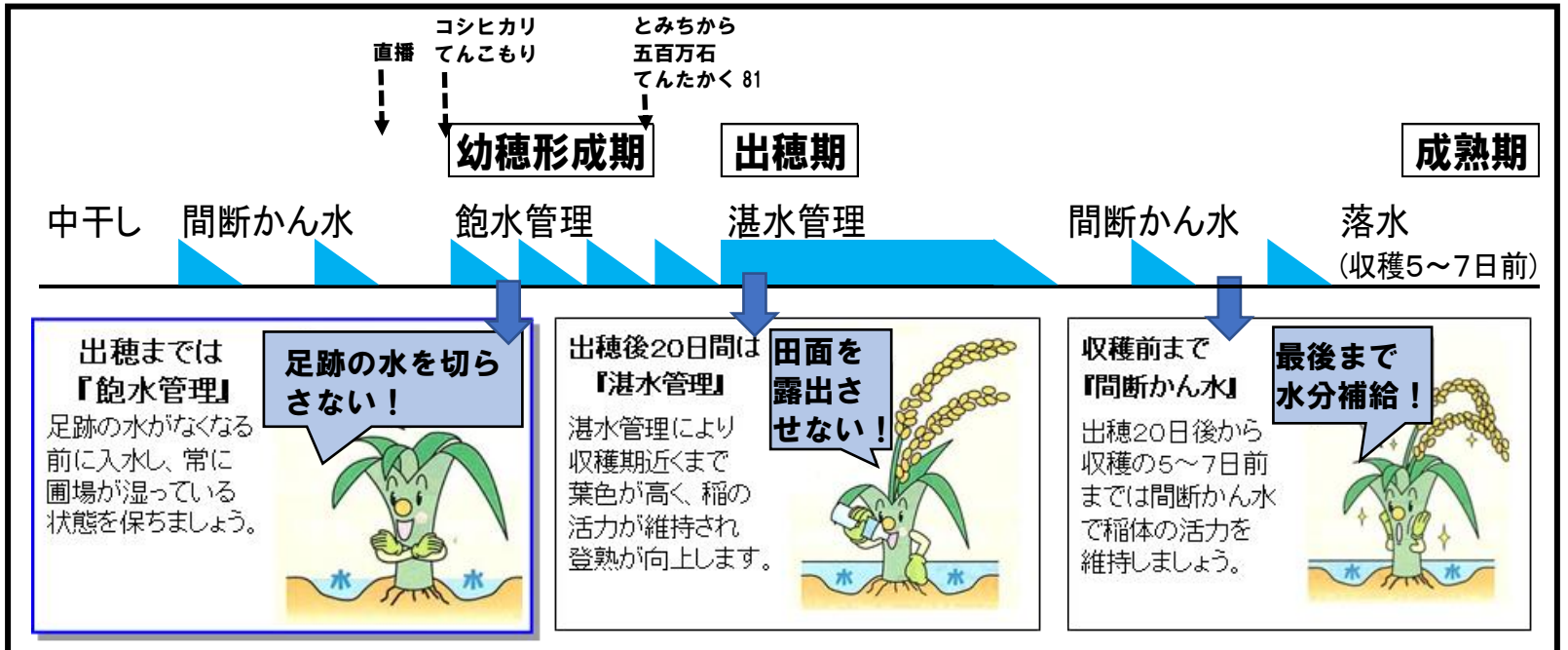
①**肥効調節型基肥体系**（基肥：Jコートてんこもり専用）の場合

- ・原則、穂肥の施用は不要です。
- ・ただし、幼穂形成期前後に**葉色4.0**を下回る場合は、直ちに**追肥3号**を10a当たり**11kg程度施用**しましょう。

②**分施肥系**（基肥：基肥555）の場合

1回目穂肥は**幼穂長1mm**（5月10日植えで7月9日頃）を確認したら**直ちに11kg/10a**、2回目穂肥は1回目穂肥の10日後に**13kg/10a**を施用しましょう。

2 水管理



(1) とみちから、五百万石、てんたかく 81

出穂期までは**飽水管理**、出穂後は20日間の**湛水管理**とし、稲体の活力を維持しましょう。

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・幼穂形成期までは**間断かん水**、その後は出穂期まで**飽水管理**を行い、足跡に水が残る程度の湿潤状態を保ちましょう。
- ・直播で茎数が過剰なほ場では、**落水期間**がやや長めの**間断かん水**を継続しましょう。

3 病虫害防除（早生）

適期に2回の基本防除を徹底し、カメムシ類による斑点米の発生を防ぎましょう。

○早生の防除時期の目安

防除時期の目安			薬剤、散布量	
			液剤【無人航空機】	粉剤
1回目	穂が全体の90%出た頃	7月18日～23日	ビームエイトスタークルゾル 8倍、0.8ℓ/10a	ビームスタークル粉剤 5DL 4kg/10a
2回目	1回目の1週間後	7月25日～30日	キラップフロアブル 8倍、0.8ℓ/10a	キラップ粉剤 DL 4kg/10a

(注) ① 1回目防除と2回目防除の間隔は7日間とし、10日以上空けないようにしましょう。

② 農薬を散布する際は、周辺の野菜等他作物や住宅地への飛散防止に努めましょう。

③ 無人航空機での散布の際は、電線・電柱等への接触事故に注意しましょう。

④ 早生は2回目防除後もカメムシ類が多い場合は、トレボン粉剤 DL で追加防除しましょう。

⑤ 中生・晩生・直播については次号でお知らせします。

カメムシ類を抑えるため、基本防除時期まで雑草の穂が出ない程度に草刈りしましょう。